ひろしま国際交流・協力情報誌
編集・発行／公益財団法人ひろしま国際センター交流部

HIC通信

Vol.91
January 2016
Hiroshima International Center

明けましておめでとうございます
本年もどうぞよろしくお願いします

目次

P 2 特集
やさしい日本語　会話篇
P 4 事業報告
交流部
留学生活躍支援センター
P 8 イベント・講座案内
Upcoming Events News
研修部（ひろしま国際プラザ）
P10 JICA レポート
こちら JICA デスク
P11 コラム
Hello Hiroshima

思ってたより
カンタン！

「やさしい日本語」で、コミュニケーション！

じつは…

私たち、こんなときに困ってました

英語も中国語も話せないけど・・・

あ♪

日本語で伝わった！

広島県に住んでいる外国人(外国籍住民)は、約41,000人！
（2015年6月 法務省資料より）

皆さんの近所や、子供の保育所、学校などにも外国籍住民が普通にいる時代になってきました。

それはつまり日常生活の中で、ほかのご近所さんと同様、外国人のご近所さんにも、町内の連絡事項や、保護者会、PTA行事等で伝えることや、やり取りする必要が増えてくるということでもあります。

そんなとき、「私、英語できないし…、どうやって話したらいいんだろう」と戸惑うことがあるかもしれません。

でも、だからといって伝えるのを敬遠してしまうと、大切な連絡も伝わって行かず、日本人住民が「どうしてあの家族だけ決まりを守らないの？」と不満を募らせる、なんてケースもあります。

また、子供会等の楽しいイベント情報が伝わらず、外国籍の子供だけ参加できなかった、なんて残念な事態も。

そこで、誰にでもすぐに使える「やさしい日本語」のご紹介です。

少しコツをつかめば、外国人のご近所さんとのコミュニケーションも、日本語でずっとスムーズにできますよ。

1point! 外国語を話さなくても、「やさしい日本語」に言い換えて伝えよう！

Question 東広島でアンケート

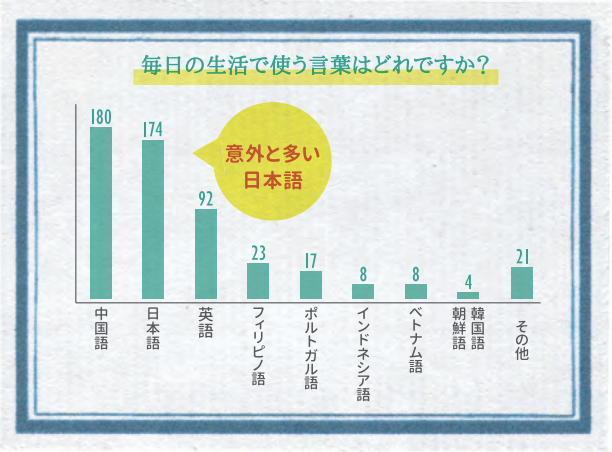
日本に住んでいる外国人の皆さんは何語を使ってるの？

一口に「外国籍住民」といっても、普通の日本人と同じように日本語が通じる人もいれば、「やさしい日本語」でゆっくり話せば通じる人、日本語は全く通じない人もいます。

ただ、旅行で来ているのではなく、仕事や勉強、結婚などで日本に住んでいる外国籍住民は、少しは日本語がわかる人が多いのです。

右は東広島市が外国籍住民 305 人に答えてもらったアンケートの結果です。
「毎日の生活で使う言葉」として日本語を挙げている人が多いことがわかります。

右図：回答数 315 人（複数回答）『外国人市民アンケート調査結果』（東広島市：2013 年）より



外国籍の方がわかりやすい「やさしい日本語」で会話してみましょう！

いつもの日本語＆やさしい日本語。身近なシチュエーションで比べてみましょう！

Case1 廃品回収

いつもの日本語

今度の10日に廃品回収があるんで、よろしくお願いします。

それから、若い人が足りんのんじゃけど、手伝ってもらえたらありがたいんですが…

Change!

やさしい日本語

こんにちは。町内会の連絡です。

町内会。はい。こんにちは。

2月10日に廃品回収があります。

はいひん…

廃品回収。
家にある古新聞や、雑誌や、アルミ缶を集めます。
リサイクルして、お金にします。
これが町内会のお金になります。

そうですか。

ですから、家にある古新聞や空き缶を○×公園に持ってきてください。10日の朝8時半までです。

8時半。

そうそう。それから、新聞や雑誌がたくさん集まります。重いです。
トラックに乗せなければなりません。
手伝ってくれませんか？

はい。いいです。何時？

Case2 集団登校

いつもの日本語

すみません、登校班の者なんですが、来年度の集団登校の班決めがあるので、この名簿にお子さんの名前をご記入いただけますか？

Change!

やさしい日本語

こんにちは。お子さんの小学校のことでお願いがあります。

あ、子どもの小学校。はい。

子どもさんが小学校へ行くとき、近くの子とみんなで行きます。
ここあそこのアパートの子どもたち、たぶん7人です。

そうですか。1年生だけ？

いえ、1年生から6年生までみんなです。

ええ~、そう。

グループの人の名前を、小学校に教えなければなりません。
私が学校に紙をだします。
お子さんの名前を教えてください。

はいはい。・・・

さっそく次ページで「やさしい日本語」のコツを解説！ Next!

Advice PICK UP!!

では、具体的にどのように話せば、外国人に伝わりやすいのでしょうか？「やさしい日本語」を話すコツを挙げてみます。

ゆっくり、はっきり、でも大きな声は必要ない

大きな声は相手に「怒っている」というメッセージとして伝わってしまうこともあります。
穏やかなトーンを保ちましょう。

言葉をやさしく言い換える

逐語訳しようとせず、「それって結局どんなことだっけ？」と、柔軟に考えるほうがうまくいきます。
ただし、「廃品回収」「子ども会」など、よく使う言葉は、そのまま使い、そのあと説明するといいでしょう。

無料
→お金はいりません。0円です。

記入用紙を配布します。
→紙を配ります。書いてください。

雨天の場合は翌週に順延します。
→雨のときはしません。そのときは17日にします。

ですます調をキープ・でも敬語は使わない

日本語を勉強する人は、最初に「です・ます」の形から習い始めます。
まずは「です・ます」調で話しかけてみてください。
でも、いわゆる「敬語」を習うのは、ずっと後のほう。
丁寧な敬語を使うと、外国人には難しくなってしまいます。
はっきりした物言いになって、ちょっとドキドキしますが、伝わることを優先しましょう。

お子さん、何年生だっけ？→子供は何年生ですか？
ご記入いただけますか？→書いてください。
必ずご覧ください。→大切です。必ず見てください。

Question ワンポイントアドバイス

重要な情報は、紙でも伝えよう

日時、集合場所、持ってきてほしいものなど、重要事項は、口頭で伝えた上でメモも一緒に渡しましょう。
メモがあれば、わからない部分をほかの人に聞くこともできます。

笑顔、相手を見て話す、などは世界共通！

以上、「やさしい日本語」で話すコツの一部をご紹介しました。
でも一番大切なのは、相手を尊重しつつ、自分の意図を伝えようとする姿勢です。
ちょっと工夫すれば、今まで話が通じないと思っていた、近所のあの人、同じクラスの保護者のあの人と、話ができるかもしれません。
しり込みしたり、見ないふりをするのではなく、笑顔で話しかけてみてくださいね。

交流部

Report 1 「グローバルビジネスのための『異文化コミュニケーション講座』」を開催しました

11月６日（金）から12月８日（火）まで，ひろしま国際センター交流ホールにて，広島経済大学教授　川村 健一氏をコーディネーターとして,「グローバルビジネスのための異文化コミュニケーション講座」（全７回）を開講しました。

第１回目の講座は，川村氏を講師に「異文化コミュニケーション（概論）～あなたはグローバルビジネスをどう考えるのか？～」をテーマとして，25名の方に受講していただきました。川村先生は，エンジニアとして様々な国で経験された事例について失敗談を交えて紹介され，その国（地域）の生活・文化・智恵を理解し尊重することの大切さや,「人との関係性を生み出す技術が文化となり長く活躍できることに気付かされた」とお話しされました。川村先生のスケールの大きい物の見方や考え方は，参加された皆さんを納得させ，飽きさせない内容でした。

第２回以降も次世代の日本を担うビジネスパーソンを対象に，日本企業の国際化の中で文化的背景が違う外国人とどのようにコミュニケーションをとりながらビジネスを成功させたかについて，各分野でご活躍中の講師の方々をお招きし，実践的で具体的なお話をしていただく内容とし，多くの方々に受講していただきました。

交流部

Report 2 「国際交流・協力の日2015」に出展しました

11月15日（日），広島国際会議場（広島市中区）にて「国際交流・協力の日2015」が開催されました。このイベントは，大人から子どもまで楽しみながら外国文化に触れ興味を持っていただくことが目的で，今年で16回目の開催となりました。当センターは,「ともだちひろば」を出展し，パネル展示や世界一のクイズ，外国の人とフリートークするコーナーを設けました。終日，多くの家族連れや学生が途切れることなく来場され，賑やかな笑顔の絶えない一日となりました。

交流部

Report 3 「平成27年度中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会」を開催しました

11月６日（金）に「平成27年度中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会」を開催いたしました。この連絡協議会は，中国・四国地区の各県及び広島市の地域国際化協会が運営課題や事業について情報共有するとともに,「大規模広域災害時における外国人支援ネットワークに関する協定書」に基づき，大規模広域災害時での連携について協議する場として，毎年開催されています。

今年度は，今年２月27日に開催された一般公開講座でも好評だった「HUG（避難所運営ゲーム）」を協会職員の方に体験していただきました。HUGとは，静岡県が開発し，避難所（Hinanjyo），運営（Unei），ゲーム（Game）の頭文字をとり，英語で抱きしめるという意味で，避難所を優しく受け入れるイメージを持たせてあります。

避難所には，様々な事情を抱えた方や，外国人の方も避難されることが想定されるため，HUGでの掲示板には，英語ややさしい日本語での表記もみられました。インストラクターの静岡県地震防災センター 片井賢一さんからは,「これまで何度もHUGを実施してきましたが，外国人避難者を想定した英語表示の掲示板は初めてだった」と地域国際化協会職員ならではの対応もみられました。

全国的に災害に対する備えが考えられている現在，外国人を「要援護者」として捉えるだけでなく，地域の担い手または隣人として認識できる社会になってほしいと思います。

交流部

Report 4　「平成27年度多文化共生担当職員　第２回テーマ別研修会」を開催

10月23日（金）に多文化共生担当職員　第２回テーマ別研修会を開催しました。

第１部では，湖南市国際協会の事務局長 林慎子さんより「市町村における多文化共生施策～国際交流協会との関係を考える～」をテーマに，湖南市多文化共生推進プランや多文化共生施策を進めていくうえで行政職員に意識してほしいことについて，湖南市国際協会の活動内容などの実例を踏まえながら講演していただきました。

また第２部では，市町からの要望で「外国人市民向けチラシの作成に向けた分かりやすい構成やデザイン」をテーマに当センター交流部広報担当 堀田愛子より，チラシ作りをするうえでポイントとなるレイアウトや色使いなどについて研修を行いました。

参加者からは,「行政と国際協会，ボランティアが一つになって地域づくりをしていることが，とても参考になった」「啓発活動やイベントでチラシを手作りすることが多いので，参考にしたい」等の感想がありました。

交流部

Report 5　「ボランティア通訳ガイド講習会」を開催しました

10月24日（土），ボランティア通訳ガイド講習会を開催し，58名の方に参加いただきました。今年は循環バス「めいぷる～ぷ」で巡る「広島市内一日観光」をテーマに，便利な市内循環バスを利用した観光ハイライトを学びました。ひろしま通訳・ガイド協会の畝崎雅子先生を講師に迎え，ガイドする際のポイントや，英語の効果的な学習法，経験豊富な先生のエピソード等を楽しく，またフランクにお話しいただきました。また,「めいぷる～ぷを利用した５時間の観光プラン」を作るグループワークでは，参加者の皆さんのオリジナリティーに溢れたアイディアがたくさん出され，活気あふれる講習会となりました。参加者の方からは「新しい発見がいくつもありました!!」「もっと広島について勉強しようというモチベーションを得ました」との感想をいただきました。本講習会が，ご参加いただいた皆様それぞれの感性を生かした広島のさらなる魅力発信に繋がれば幸いです。

交流部

Report 6　留学生奨学金　第２回交流会を開催しました

奨学金の受給者と協賛企業・団体との交流の促進を目的として，年２回交流会を開催しており，11月26日（木）に第２回交流会を行いました。

この交流会に先立ち，渡日等留学生支援に係る奨学金（後期）の支給者８名に奨学金決定通知書の授与を行いました。続いて開催された交流会では，留学生，協賛企業・団体の関係者及び大学関係者の皆様 合わせて100名を超える参加者が一堂に会し，これまでの学生生活で取り組んだこと，奨学金をどのように役立てているか等を語り，懇親を深めました。また，エリザベト音楽大学大学院のデグズマン　シプリアノ　ジュニア　メルカドさんによる声楽が披露され，会場は大いに盛り上がりました。ご参加いただいた皆様，誠にありがとうございました。

留学生活躍支援センター

Report 7　【外国人留学生対象】企業見学ツアーを実施しました

11月10日(火)，平成27年度第２回「企業見学ツアー」を実施しました。職場見学を通して留学生と企業関係者の交流を深めるとともに，日本企業の理解促進を目的とするものです。

今回のツアーは，東広島地域を中心とする留学生38名が参加，午前中は株式会社晃祐堂，午後からは株式会社ムロオ東広島物流ターミナルの見学を行ないました。参加者からは「見学した企業の魅力を理解できた」「今後の就職活動の参考となった」「広島県内で就職したい気持ちが強くなった」などの感想が寄せられ，就職に向けての意識の向上につながったようです。

今回は定員を大きく上回る参加希望者があり，日本企業への関心の高さを改めて認識できました。

ご協力いただきました企業のみなさま，ありがとうございました。

留学生活躍支援センター

Report 8　外国人留学生のための就職実践セミナーを開催中です

日本での就職をめざす留学生を対象とした就職活動実践セミナーを，広島・東広島・福山の３地域で開催しています。11月を初回に１月までの計３回のセミナーです。

このセミナーは,「日本での就職活動方法」から「自己分析・企業分析」「面接・筆記対策」など，就職活動のノウハウを習得するもので，今年も多くの留学生の皆さんが参加され，真剣に学ばれました。

留学生活躍支援センター

Report 9　「平成２７年度第２回 留学生活用セミナー」を開催しました。

12月４日（金）に「企業のグローバル化と外国人留学生の採用・定着」を主テーマとして，本年度，第２回目の留学生活用セミナーを開催しました。第１部は業界専門誌「就職ジャーナル」編集長の大黒光一氏による基調講演と三建産業株式会社大田公生社長様による事例発表，第２部はテーマ別の分科会（ワークショップ）。今回も多数の参加があり，特に，第２部の分科会は定員数を超える参加者で，終始，熱のこもった質疑応答と意見交換がなされました。

また，セミナー終了後の懇親会場では，更にフランクで有意義な情報交換がなされました。

留学生活躍支援センター

Report 10　留学生交流イベント「RUNNING MAN」を開催しました

10 月 24 日（土），広島市中央公園で，広島地域留学生会主催のイベント「RUNNING MAN」を開催しました。RUNNING MAN とは，韓国で人気のバラエティ番組で，今回のイベントでは，県内から約 70 名の留学生や日本人学生が集まり，チームごとに，障害物リレー，綱引き，名札取りゲームを競い合いました。企画から当日の運営までを担当した留学生たちも，参加者の楽しそうな笑顔を見て，とても嬉しそうでした。今後も交流の輪が広がってくれることを願います。

チームカラーの T シャツを着て，全員で集合写真

力を合わせて綱引き！

背中に貼った名札を取られないようにみんな必死です

Upcoming Event News

10 周年記念事業「ユニセフ講座」

元国連職員で，現在東京大学客員共同研究員の岩佐礼子氏をお迎えして講演会を行います。

内容は，アジアやアフリカでのユニセフの緊急人道支援の仕事を通じて目にした子どもたちの話。紛争や災害で被災したり，不便で貧困な日常の中でもたくましく生きる子どもたちの実情を伝えます。

日 2 月 27 日（土）
時 14 時～ 16 時（17 時～交流会）
場 サテライトキャンパスひろしま 5F 大講義室 501 号
定 100 名
費 無料
問 担当者　髙田　和美
TEL：(082) 231-8855
E-mail:unicef-hiroshima_06@theia.ocn.ne.jp

原稿募集中！

～ひろしま国際交流サミット加盟団体のみなさまへ～

HIC通信の「Upcoming Event News」コーナーにイベント情報を掲載してみませんか？サミット加盟団体様のイベント情報等を紹介する原稿を募集しております。掲載ご希望の方は下記までお問い合わせ下さい。

問 TEL：(082) 541-3777　FAX：(082) 243-2001
E-mail: hic17@hiroshima-ic.or.jp（HIC 通信担当）

第 24 回　外国人留学生による日本語スピーチコンテスト

広島県東部在住の外国人留学生による日本語スピーチコンテストを実施します。

留学生の視点から，日本の文化や留学生活などについて発表します。

また，コンテスト・交流会を通じ，地域のみなさんとの国際交流を深めます。

第 1 部　13：30 ～ 16：00
外国人留学生による日本語スピーチコンテスト
第 2 部　16：30 ～ 18：00
交流会（参加費 1,000 円・要予約）

第 1 部のスピーチコンテストは入場無料です。また，コンテスト終了後には出場者との交流会を行います。

日 2 月 28 日（日）
時 13：30 ～ 18：00
場 福山市立大学 大講義室等
定 第 2 部 100 名
費 無料（交流会 1,000 円・要予約）
問 福山ＹＭＣＡ
担当者　佐藤
TEL：(084) 926-2211 ㈹
E-mail:t-sato@hiroshimaymca.org

研修部（ひろしま国際プラザ）

世界まるごと体験デー

開催日時　2月14日（日）

ひろしま国際プラザ（東広島市）で９月12日（土）に「世界まるごと体験デー」を開催しました。500 人以上の方にご来場いただき，世界の文化を体験できるコーナーやかえっこバザールなどを楽しんでいただきました。

次回は２月 14 日（日）に開催予定です。色々な国のゲームや手作り体験，クイズ，フリーマーケット，民族衣装の試着，留学生によるお国料理の屋台など，小さなお子様から大人の方まで楽しんでいただける内容です♪ぜひ東広島市のひろしま国際プラザに遊びにきてください！

研修部（ひろしま国際プラザ）

英語村開催！

開催日時　3月13日（日）10時～15時

東広島市鏡山のひろしま国際プラザで英語村を開催します。県内のALT（英語指導助手）や留学生，JICA研修員の協力のもと，工作や歌，運動，料理など，色々な活動を英語で楽しもうというイベントです。年代別のミニレッスンもあります。

子どもから大人まで，１日英語で過ごせるイベントです。ご家族，お友達とご参加ください。お待ちしています。

研修部（ひろしま国際プラザ）

ホストファミリー募集

開催日時　4月15日（金）夕方～4月17日（日）午前中

現在，以下の日程でオーストラリアの高校生を受け入れていただけるご家庭を募集しています。特別なおもてなしをする必要はありません。参加者は日本の普段の生活を体験することに興味を持ってやってきます。スーパーに夕食の買い物に行ったり，近所で犬の散歩をしたり･･･ぜひ，オーストラリアの高校生にみなさんの日常生活を体験させてあげてください。

受入期間	４月15日（金）夕方～４月17日（日）午前中
受入人数	ご希望に応じて，１名もしくは２名
募集家庭	15 家庭（単身世帯・室内喫煙者のいるご家庭はご遠慮ください。）
対面場所	ひろしま国際センター交流部（広島市中区）もしくは研修部（東広島市鏡山）での対面・解散となります。
提供していただく食事	金曜：夕食，土曜：朝食，昼食，夕食，日曜：朝食
提供していただく部屋	寝る場所が確保できれば，個室である必要はありません。同性のお子さまと同室でも大丈夫です。
謝礼	受け入れ１名につき，5,000 円お支払いします。
言葉	簡単な英語，日本語，身振り手振りで交流できますので，ホストファミリーは英語を話せなくても大丈夫です。
締切り	２月２６日（金）
お問い合わせ お申し込み	ひろしま国際センター　研修部　（担当：溝手） 電話：082-421-5900　Email：hicc29@hiroshima-ic.or.jp

上記募集の申込・お問い合わせは，裏表紙 研修部（ひろしま国際プラザ）まで

広島から世界へ！僕たちにできることは必ずある！

1月上旬より，広島県からJICAボランティア６名がマラウイ，モンゴル，エルサルバドルなど６ヵ国へ向けて出発します！

■現在赴任中の広島県出身 JICAボランティア（名）

区　分	男性	女性	合計
青年海外協力隊	17	33	50
シニア海外ボランティア	7	2	9
日系社会青年ボランティア	—	—	—
日系社会シニアボランティア	—	—	—

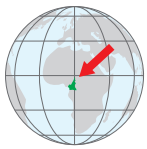
平成27年10月31日時点

JICAボランティア ＜青年海外協力隊とは!?＞

「自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたい！」という強い意欲を持つ20歳～ 39歳の日本国籍を持つ方が対象のボランティアです。
派遣は原則2年間。衣食住を現地の人とともにしながら，互いに理解を深め，途上国の発展を支援する。そんな現場レベルのボランティアに，あなたも参加してみませんか！？
40歳~69歳の方を対象とした「シニア海外ボランティア」もあります。

帰国隊員レポート ～カメルーン篇～

山本 主税さん



現地での活動内容

カメルーンの農業･農村開発省に配属されましたが，配属初日に農業についての現地のニーズがないことが判明したため，ニーズのあったハンドポンプ式井戸の修理を行いました。
カメルーンの農村部では未だ上下水道が整備されておらず，人々は湧き水を使って生活しています。私が配属された村の湧き水も水質が安定しないため，村では水に関する病気が蔓延していました。
この状況を何とかできないかと考え，村に設置されていたハンドポンプ式の深井戸を4年ぶりに修理。その後修理チームを組んで周辺村落の井戸もどんどん修理し，結果約1万人が安定した水を手に入れることに貢献することができました。

カメルーンってこんなところ！

カメルーンといえば「サッカー！」と10人に聞けば9人が答えるほど，日本ではサッカーが有名な国として知られているように，カメルーン国内でもサッカー人気は凄いものがあります。一度試合をスタジアムで観戦しましたが，席は超満員。「不屈のライオン」の二つ名を冠する緑のユニフォームが席を覆い，スタジアム周辺は大渋滞。露店も国旗のグッズが溢れ，国営テレビはもちろん生放送。国をあげてみんなで応援します。その姿は広島県民のカープ好きに似ているところがあるかもしれません…！私も気が付けば声をあげて応援していました。

カメルーン人ってこんな人！

クリスマスになると，みんなご飯をごちそうしてくれます。
と言っても外食ではなく家で作った料理を「うちで食べてけ！」とお呼ばれされます。私は代表的なカメルーン料理の一つ，「ご飯のトマトソースかけ」を1日で4回いただきました。どうして数あるカメルーン料理の中でこれほど一つの料理に当たるのかは不明でしたが，食べ物を残すのは失礼にあたるため完食。みんなの笑顔を見れて嬉しかったのですが，次の日には腹痛で動けなくなったのは内緒です。

カメルーン共和国

中部アフリカに位置する共和制国家。
ナイジェリア，チャド，中央アフリカ，コンゴ共和国，ガボン，赤道ギニアに隣接。南西部は大西洋のギニア湾に面する。
【概要】面　積：47万5,440㎢（日本の約1.26倍）
人　口：約2,225万人（2013年　世銀）
首　都：ヤウンデ
民　族：ドゥアラ族，バミレケ族，バムン族，フルベ族他
公用語：フランス語・英語
宗　教：カトリック，プロテスタント，イスラム教，その他伝統宗教

◀がけ下の湧き水を汲む子どもたち

白熱するサッカー場▼

▲修理した井戸から水を汲む子どもたち

山間部では数キロ先の畑まで▶毎朝歩いて通う

山本（やまもと） 主税（ちから）さん プロフィール

- 広島市出身。
- 京都の美術大学を卒業後，プロダクトデザイナーとして勤務。その後，農業生産法人で野菜の栽培技術を学び，2013年より青年海外協力隊（村落開発普及員）としてカメルーンにて活動。
  現在はIOM（国際移住機関）に所属し，チャド共和国にて井戸掘削中。

参加のきっかけ

海外の農業を知りたい，飢餓をなんとかしたいという漠然とした思いから参加しました。

参加して思うこと

自分自身のできること，できないこと，性格，感情の豊かさなどを思い知りました。
その国に住んでいる人たちのために働くことができるのは，とても名誉なことであり，活動を通して住民が喜んでいる姿を見ると，大きな達成感がありましたが，そこに至るまで多くの困難や壁にぶつかります。そのとき頼れるのは自分自身です。
私は困難を乗り越える度，その都度新しい自分を発見することができました。

JICAボランティア

身近な国際協力に参加してみたい！と思ったら…

JICA中国や広島県JICAデスクでは，イベント情報の案内や活動紹介などをホームページだけでなく，facebookでも発信しています!もちろん，直接話を聞いてみたい!という方も大歓迎。下記，広島県JICAデスクまでお気軽にお問い合わせください。

●JICA中国　facebook
QRコードはこちら→

●広島JICAデスクfacebook
QRコードはこちら→

※お問い合わせは，（公財）ひろしま国際センター内
広島県JICAデスク 上田まで　TEL:082-541-3777

Hello Hiroshima

Vol.91 January 2016

This author is on the bottom, the second from the left.

Why I Play Study Japanese Musical Instruments and You Should Too (和楽器)

by Trevor Swan

The following is why you should take up a traditional Japanese art, if you haven't already.

On October 10th, as I stood in front of Toshogu Shrine with 2,000 other performers dressed in clothing that ranged from the robes of Shinto priests to samurai to kimono, I could feel the nervous energy in the air as everyone waited in anticipation for the festival parade to begin. Personally, I was brimming with excitement my fellow Irodori teammates and I had practiced for this performance for months and we came fully clothed in our team kimono. In just one hour, the my teammates and I would be marching and performing in front of thousands; taking part in a portable shrine carrying festival that had not taken place for over 200 years, and has only been held four times since it began 400 years ago.

It started late, a whole hour late, as the over 2,000 performers took much longer to leave the front of the shrine carrying the titanic portable shrines than expected. But after it got started we finally got our chance to shine. As with all the performers, we marched along the two kilometer parade path stopping at predesignated points to do our performance finally ending in a performance directly in front of numerous VIPs such as the vice governor and mayor.

Among many others, I was one of the first non-Japanese people to perform in it and in a very small way made it into local history. As everyone else who did I received a free protection charm made by the priests at the shrine, a free lunch and a commemorative wooden plaque for joining in[1]. While things are not the reason I started learning Japanese taiko[2], but they are part of the reason I continue it. That is what it means to join in an active team performing a traditional art in Japan. You gain lasting friendships, expand your social circle and activities, get a place at the forefront of international exchange and most importantly, you get to write about it in a quarterly magazine[3].

1 In addition to a commemorative oke-daiko key chain from my sensei
2 If you would like to know why I joined Irodori, you will have to refer to HIC Tsushin Vol. 88's Hello Hiroshima.
3 For those that don't understand the concept of humor, please refer to http://www.foxnews.com/
For those who are not American, please note that the above is a joke and there is no need to actually open the link.

HICワンペア
日本語学習ボランティア

始めよう
日本語を伝える
お手伝い

詳しくはウェブサイトへ
HIC ワンペア 検索

■活動内容　在住外国人の方の日本語学習を一対一（ワンペア）で，お手伝いします。
■活動場所　ひろしま国際センター 交流部（広島市中区中町8-18）
■募集対象　外国人の方の日本語学習を手伝ってみたい方，国際交流に興味のある方，ボランティアに興味のある方。年齢18歳以上。資格・経験は問いません。（申込み時に語学力等ご相談いただけます）

■申込方法　来館，ホームページ，郵送または FAX でお申し込みください。郵送，FAXの場合，ホームページから登録用紙をダウンロードいただけます。
■登録後の流れ　登録後は当センターにてご希望条件（※）に合った方とマッチングいたします。
※希望条件は，学習曜日や時間帯，学習頻度，学習レベル等です。

【お問合わせ】公益財団法人ひろしま国際センター 交流部　tel:082-541-3777

Global Relations Program

「グローバルリレーションズ・プログラム（GRP）」参加者の声

異文化の中，共同生活

イ サンギ
李 尚起さん（韓国）

こんにちは，私は韓国の大邱（テグ）市から来た，李尚起（イサンギ）と申します。大邱市は広島市と姉妹都市を結んでいます。大邱市は韓国南部の内陸盆地に位置するため，韓国で一番暑い都市と言われています。日本への留学を考えたのは，人生に何か変化が必要だと考えたからです。来日してから，日本で友人や知人とあまり深い付き合いをしてこなかった私は，今回，ひろしま国際プラザ（HIP）のグローバルリレーションズ・プログラム（GRP）に参加して，ロビーイベントや日本文化体験，体育館でのスポーツで色んな国の人々との共同生活を通して，自己に対する理解が深まることになりました。お互いに言葉は通じなかったのですが，ロビーイベントや日本文化体験，体育館でのスポーツを通して，片言でも話し合いながら，一緒に楽しんでいます。そして，国境を越えた人の温かさ，心の支えとなる人がいることの尊さを実感しました。一方，文化の小さな違いが大きな誤解を招き，意見が衝突することもありました。単に意見を言い合うのでなく，背景にある思想や文化の違いも理解するよう心掛けたら，心から信頼できる友人が世界中にたくさんできると思いました。今後も，この経験を生かし，考えや文化の異なる人とも歩み寄り，信頼関係を確実に築いていきたいと思います。

現在，日本でサッカー 1 級審判員として活躍しています。写真は，今年 8 月に滋賀県で行われた天皇杯時です。（ボールを持った審判）

4月からの入居者募集！

グローバルリレーションズ・プログラム（GRP）とは？

ひろしま国際プラザに入居して大学に通いながら，国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることを目的とした，外国人留学生のためのプログラムです。現在，7ヶ国15名の留学生がこのプログラムに参加しています。今春4月からの入居者を次のとおり募集しています。

★ 募集数：8室
★ 使用料：1泊770円　管理費2,500円/月
　月額24,060円～26,370円（水道光熱費込）
★ 詳しくは「ひろしま国際プラザ」のホームページをご覧下さい。

講演会のお知らせ

カープ通訳西村さんに学ぶ！多文化共生講座
「カープ外国人選手とのコミュニケーション」

㈱広島東洋カープの外国人選手通訳として活躍される西村公良さんをお迎えし，外国人とのコミュニケーションのコツについてお話をうかがいます。**1月中旬開催予定**
外国人とコミュニケーションをとることに関心のある方の参加をお待ちしています。

詳細はホームページでご確認下さい

HIC交流部からのお知らせ

～カレンダーの無料配布～

ひろしま国際センターでは，関係団体や企業の皆様からご寄贈いただいたカレンダーや手帳でお分けできるものを無料で提供しています。
外国人住民の皆様をはじめ，ご友人・知人等にこれらを必要とされる方がいらっしゃいましたら，ぜひご紹介ください。

■日　　時　1月上旬～下旬まで（予定）　※なくなり次第終了します。
■場　　所　ひろしま国際センター交流部（左下の地図をご参照ください。）
■申込方法　ご来館の上，お好きなものを選んでお持ち帰りください。

賛助会員を募集しています！

HICでは幅広く市民の皆さんに協会の事業についてご理解，ご支援いただくために賛助会員制度を設けています。賛助会員の皆さまには，協会機関誌など国際交流情報やイベントのご案内をお送りさせていただきます。この制度を通して言葉や習慣の違いを乗り越え，心を通い合わせることのできる豊かなまちづくりに一緒に参加しませんか？
皆さまからご支援いただく賛助会費（※）は国際交流事業，国際理解教育事業，多文化共生事業に使わせていただいております。

■入会資格
協会の趣旨に賛同していただける個人，法人・団体

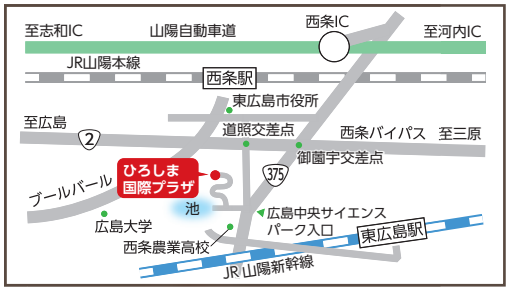
■年会費
個人一口　　2,000円（一口以上）
法人・団体一口 10,000円（一口以上）
※当協会に対する賛助会費については税法上の優遇措置があります。

交流部&留学生活躍支援センター

〒730-0037
広島市中区中町8-18　広島クリスタルプラザ6F
TEL.(082)541-3777 FAX.(082)243-2001
E-mail／hic@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間
月～金 10:00～19:00　土 9:30～18:00
日・祝日および年末年始(12/28～1/4)はお休みです。

研修部（ひろしま国際プラザ）

〒739-0046
東広島市鏡山三丁目3−1　ひろしま国際プラザ内
TEL.(082)421-5900 FAX.(082)421-5751
E-mail／hicc@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間
（情報センター・図書室・NGO交流室）
月～土 10:30～19:00※
日・祝日および年末年始はお休みです。
※情報センター・図書室は平日12:30～13:30閉館です。臨時に閉所する場合は，HPで随時お知らせします。